

学級活動指導案

人権教育としての協議の視点

メッセージアプリの事例をもとに話し合う活動は、相手の存在を意識して会話しようとする実践的な態度を育てることに有効であったか。

I 題材名「SNSを使うときに大切なことを考えよう」

II 題材設定の理由

(削除)

III 学習指導要領の位置付け

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

IV 身につけさせたい資質・能力及び児童の実態

	身に付けさせたい資質・能力	児童の実態
知識・技能	インターネット上での人権に関わる問題に対して、自分や相手の人権を守るために必要な行動の仕方を理解している。	(削除)
思考力・判断力・表現力	インターネット上での人権に関わる問題の事例に対し、話し合いを通して、相手を傷ついたり、事件に巻き込まれたりしないために、どのように行動すべきかを考えることができる。	(削除)
主体的に学習に取り組む態度	クラスでの話し合いを通じて、自己の課題を見つけ、解決しようとしている。	(削除)

V 指導計画

	主な内容	主な学習活動	評価の観点		
			知	思	態
事前の	問題の発見と確認	○ SNS に関するアンケートを取り、実態を把握すると共に、話し合いのグループ編成に活用する。 ○ 群馬県ネットリテラシー教材を利用し、インタ	○		

活動		ーネットにおけるトラブルを疑似体験することで問題意識を高める。			
本 時 の 学 習				○	
事後の活動	決めたことの 実践と振り返り	○2週間、学校生活で行動目標が達成できているかをチェックし、トラブルに巻き込まれないような行動意識を高める。 ○保護者からのコメントをもらうことで、家庭との意識共有を図る。			○

VI 人権教育との関わり

情報化社会が進む近年、SNS でのコミュニケーションは必須となっている。しかし SNS 上のトラブルも顕在化し、SNS を使う上での道徳性が求められている。そこで、本題材では、メッセージアプリ上でのトラブルの原因と解決策を話し合う活動を通して、見えない相手とのコミュニケーション取り方を学んでいく。さらに、SNS でのコミュニケーションは日常生活の延長線上にあることに気付かせ、日常生活においても相手を尊重した言動を意識し、よりよい人間関係を形成しようとする態度を育てたい。

〈育てたい能力・態度〉

- 技 能：自分の生活を振り返り、自ら課題を見つけ、その課題を解決しようと、学習したことをもとに実行している。
- 判断力：人との関わりを通して、目に見えない相手でも、互いの存在を大切にし、相手の立場で物事を考え、公正・公平に判断し、発言や行動できる。

VII 本時の学習

1 **ねらい** ある SNS トラブルの事例に対し、トラブルの原因や解決策を話し合う活動を通して、今後トラブルに巻き込まれないようにどうしたらよいか考え、自分の行動目標を決める。

2 **準備** 事前アンケート結果スライド、メッセージアプリスライド、メッセージアプリプリント、ホワイトボード、ワークシート

3 人権の視点

- 技 能：自身の生活を振り返り、SNS 上でのトラブルを未然に防ぐための行動目標を設定できる。
- 判断力：相手の存在を大切にし、相手の気持ちを考えた伝え方など、SNS 上のトラブルを未然に防ぐための方法を考えることができる。

4 展開

<p style="text-align: center;">主な学習活動</p> <p>○教師の発問 ☆児童生徒の意識</p>	<p style="text-align: center;">指導上の留意点及び 支援・評価</p>	<p style="text-align: center;">時間</p>
<p>1 事前にとったアンケートからクラスの実態や現状を把握する。(つかむ)</p> <p>☆SNS はみんな使ってるな。 ☆便利だからだな。 ☆使い方を間違えると「怖いこともある」と、前に授業で学習したな。</p> <p>○SNS のよくあるトラブルについて、自分たちが巻き込まれないよう、みんなで原因や解決策について話し合ひましょう。</p>	<p>※アンケート結果から自分達にとって SNS 等のトラブルは身近な問題であることを意識させる。</p> <p>※今日はどのような事をテーマに授業を行うか分かったか児童に確認することで、本日のめあてを引き出す。</p>	5
<p>〈めあて〉 SNS を使うときに大切なことを考え、自分が気を付けることを決めよう。</p>		
<p>2 SNS トラブルの原因を話し合う。(さぐる)</p> <p>〈事例〉メッセージアプリでの言葉のすれ違いからのいじめ</p> <p>○トラブルの原因は何でしょう。 ☆送り手が「？」つけなかったから誤解されたと思う。 ☆受け手にも原因があるのでは？</p>	<p>※3つのグループは、事前にとったアンケートのインターネット等の使用頻度などからバランスを考え編成する。</p> <p>※送り手と受け手の両側面から、トラブルの原因を考え、全体で共有する。</p> <p>※話し合いは通常の会話のような形で、児童同士が気軽に話しやすいようにする。</p>	10
<p>3 解決策について話し合う。(見付ける)</p> <p>○トラブルの原因をもとに、解決策について話し合ひましょう。 ☆読み直して、誤解がないか考えてから送信すればよかった。 ☆意味がよくわからないときは、聞き返すとよかった。 ☆けんかになりそうだったら、書き込みはやめて、次の日直接会って話したらいいと思う。</p> <p>○今回は SNS 上の話だけど、日頃からどんなことに気を付けていればよかったのでしょうか。 ☆そもそも、強い言葉で書き込むからトラ</p>	<p>※グループごとに、送り手と受け手の両方について話し合わせる。</p> <p>※話し合いが滞っていたら、話題を提示したり、意見があまり言えていない児童から意見を引き出したりするなど、話し合いに深まりが出るよう支援する。</p> <p>※個々の日常生活を振り返らせるために「自分だったらどうするか」など、本音を話せるような言葉がけをする。</p> <p>※出た意見だけで、本当に回避できるか再度問いかける。</p> <p>※「遭遇した時に本当に、回避できるか」問いかけ、揺さぶり、その</p>	15

<p>ブルになった。言葉遣いに気を付けたほうがいい。</p> <p>☆相手のことをよくわかっていれば書き込みの意図が予測できたかもしれないな。</p> <p>○具体的な解決策が出ましたね。中には、日常生活の中から意識できることがあるということに気付いた人もいましたね。</p> <p>4 行動目標を立てる（決める）</p> <p>○出た意見を参考に、自分の行動目標と理由をワークシートに書きましょう。</p> <p>☆いつも優しい言葉を使うようにする。</p> <p>☆相手のことを理解できるように、たくさん話す。</p> <p>○行動目標を提示しながらグループ内で発表し合いましょう。</p> <p>☆○○さんの行動目標は自分にも当てはまるな。少し自分の目標に取り入れよう。</p>	<p>時だけでなく、日常から準備できることがあることに気付かせる。</p> <p>※「～しない」ではなく、「～する」「～できるようにする」など、前向きな言葉で書くよう声をかける。</p> <p>※日常的に実践できる行動目標になるように支援する。</p> <p>※他の人の行動目標を参考に、自分の行動目標を見直してもよいことを伝える。</p> <p>※時間に余裕があれば、数名の児童に行動目標を発表させる。</p> <div data-bbox="861 1064 1332 1265" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価項目】 思</p> <p>話合いで出た考えを踏まえ、自分の課題に合った具体的な実践方法を決めている。（ワーク</p> </div>	10
<p>5 本時の振り返りをする。</p> <div data-bbox="183 1355 1348 1691" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈振り返りの姿〉</p> <p>☆ネットを使うときでも、相手のことを考えて使うことが大切だと分かった。</p> <p>☆みんなの意見を聞いて、今まで気軽にネットを使っていたけど、トラブルに巻き込まれないように、これからは気をつけて使っていきたいと思った。</p> <p>☆これからは、言葉遣いに気を付けてSNSを使おうと思った。</p> <p>☆普段の生活がネットトラブルに繋がる事が分かったので、行動目標をしっかり守って生活したい。</p> </div>		5

5 板書計画

SNSトラブルについて考えよう

自分の行動目標を決めよう！

SNSを使うときに大切なことを考え、自分が気を付けることを決めよう。



《トラブルの原因》

○送る側

- ・意味が分かりにくい
- ・思い違いだと分かっているにもかかわらず気持ちを伝えていない

○受け取る側

- ・文字だけで判断した
- ・本当の気持ちを確認していない

両者の感じ方、考え方にちがいがある！

《解決策》

- ・送る前に文章を確認。
- ・文字だけで決めつけない。
- ・思い違いに気付いたら、直接話して確認。
- ・相手の本当の気持ちを確認する。

6 ICTの活用

- ・ Google form アンケート結果の提示
- ・ Google スライドでトラブルの事例を提示（メッセージアプリのやりとり）

インターネット上の人権問題について考えよう！

名前()

1. 自分の行動目標を決めよう！

理由～なぜこの行動目標にしたのか～

× モ ～友だちの意見で参考になったこと、考えたことなどがあればメモしよう～

2. 授業のふりかえりをしよう！

自分の行動目標はこれだ！

--

2週間の学校での生活をチェックしよう！

・1日の最後に、自分の行動目標についての達成度を10点満点でふりかえろう！

日付					
点数					
	点	点	点	点	点

日付					
点数					
	点	点	点	点	点

合計点数

--



ふりかえりをしよう！

--